



「妙高市民の心」作文 優秀作品集（低学年の部）

最優秀賞

ヤゴのすみやすいかんきょう

斐太北小学校 2年 榊 れん

ぼくは、小さなころから、こん虫が大好きです。その中でもとくにすきなのがトンボです。トンボのかおは、しゅるいによって目の色がちがったり、羽が大きかったり、空にとんでいくすがたがかっこいいからです。トンボの赤ちゃんのヤゴを見つけるのも好きです。

お父さんと、ヤゴを見つけている時に田んぼでしんでいるのを見ました。「それは、虫が米を食べないようにするためのくすりのせいかもね」と聞いてかなしくなりました。ぼくのすんでいる妙高市は、たくさん田んぼがあるので、お米もだめにならないで、虫たちも安全に生きていられるくすりがあったらいいなと思いました。これからもトンボがたくさん見られるように、ぼくは、小川や草にゴミがあったらひろって虫たちの赤ちゃんがすみやすくしてあげたり、ヤゴをとってもかんさつしたらかえしたりしてヤゴたちのすみやすいかんきょうにしてあげたいです。





だいすきなやすみのゆうはん

優秀賞

新井小学校1年 池田 実弘

わたしは、ごはんを食べることがだいすきですが、すきなじかんと、あまりすきではないじかんがあります。

あさごはんは、にいちゃんとしゃべってばかりいて、じかんがかります。そのうち、みんなたべおわって、ひとりぼっち。きゅうにごはんがおいしくなくなって、なみだがでてきそうになります。だからあさごはんのじかんはあまりすきではありません。

けれども、やすみのひのゆうはんは、だいすきです。かぞく5にんみんなそろっているからです。てーぶるにおかずをたくさんならべてもらって、とうめいのこっぴにすきなのみものをいれます。みんながいすにすわったら、こっぴを「かちゃーん。」とならしてかんぱい。おしゃべりをしながらたべるけれど、どんどんすすみます。わたしは、にこにこがおになります。

おなじごはんのじかんでも、みんなでいっしょにたべたほうが、100ばいおいしいです。





あいさつで心ぽかぽか大きくせん

優秀賞

新井北小学校2年 松澤 楓香

わたしは、人とのあいさつをたいせつにしています。人から「おはよう。」といわれたらじぶんもあいさつをします。人からあいさつをされるとうれしいです。とうこうするまえも、とうこうするはんのみんなにあいさつをします。あいさつは心ぽかぽかにしてくれるものです。あいさつがなければ人とのなかよしがなくなってしまいます。わたしは、もっとみんながあかるい大きなやさしい声であいさつをいっぱいしてもらいたいです。わたしもあいさつうんどうをがんばります。いろいろな人にあいさつをしてその人たちがわたしたちにあいさつをかえしてくれるとうれしいです。そしてわたしは心ぽかぽか大きくせんをしました。心ぽかぽかだいさくせんはみんなにあいさつをするだいさくせんです。だからわたしは日本ぜんこくがいっぱいあいさつをしてくれたらわたしはすてきだな。とおもいました。人とあいさつをしてもっと人たちがなかよしになってほしいです。

